

千島海溝の巨大地震津波対策を支える災害総合知の創出 WS を開催しました (2022/12/19)

テーマ：災害レジリエンス共創研究プロジェクト・津波防災
会場：道東経済センタービル第二小会議室（北海道釧路市）・釧路市内ほか

12月19日（月）に、千島海溝の巨大地震津波対策を支える災害総合知の創出ワークショップが、釧路市にて対面形式で開催されました。この企画は、東北大学災害科学国際研究所災害レジリエンス共創研究プロジェクトの一環として実施されたものです。

当研究所からは 3 名が参加し話題提供を行ったほか、北海道大学・関西大学の研究者や自治体からの参加者と意見交換を行いました。なお、同日および翌日には、釧路市内ほか周辺地域における津波避難施設などの現地視察を行いました。

ワークショップでの話題提供題目は、以下の通りです。

平野 勝也 「東日本大震災被災地復興と千島海溝地震対策（ハード・まちづくり）」
定池 祐季 「被災地支援の課題と千島海溝地震への準備（ソフト・医療保健福祉）」
福島 洋 「地震・津波ハザード・後発地震評価」

※話題提供題目は、当研究所の研究者のみ掲載



話題提供の様子



会場の様子

文責：定池 祐季（イオン防災環境都市創生共同研究部門）
福島 洋（陸域地震学・火山学研究分野）
平野 勝也（空間デザイン戦略研究分野）